

【オリコンサルグローバル 中米地域物流開発計画で中間報告】

中米地域物流開発 計画で中間報告

オリコンサルグローバル

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、6月14日にパナマで開催された中米運輸交通大臣審議会（COMITRAN）で、柴田純治執行役員が「中米地域

物流ロジスティックス開発マスタープラン」について中間報告を行った。同社は2019年11月に同地域の運輸交通・物流改善に関する調査を開始。35年を目標に、道路・鉄道・航空・港湾・税関・都市物流の6セクターを対象とした広域物流マスタープランの策定を支援している。

COMITRANは中米6か国（グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル、ニカラグア、コスタリカ、パナマ）が加盟する運輸交通大臣の審議会。中米地域諸国は限られた輸送手段とルート、高い輸送コストが経済成長の課題となっている。